

議会運営委員会所管事項調査報告書

期 日	令和元年 10 月 15 日（火）～16 日（水）
訪問先	岩手県 北上市
出席者	瀧口 慎太郎 委員長、高橋 知己 副委員長、 栗山 香代子 委員、遠藤 浩一 委員、望月 真実 委員、 神子 雅人 委員、田上 祥子 委員
随行者	若林係長
調査項目	議会改革の取り組みについて
調査内容	議会改革の主な取り組みとしては、平成 23 年に議会基本条例を制定するに当たり、先行して平成 22 年に市民と議会をつなぐ会を実施し、その取り組みを念頭に平成 23 年に議会基本条例を策定し、議会基本条例をより具体的に推進するために、平成 24 年には議会改革推進会議を設置し、以後は、通年議会、政策提言、モニター制度、タブレット端末の導入などの取り組みを推進している。 政策提言は平成 29 年度から行っており、検討期間は、常任委員の任期と同様に 2 年単位で実施している。1 年目は政策提言を見据えながら視察を含め調査・研究を行い、2 年目に具体的な検討を行っている。 提言の流れは、広聴活動の一環である市民と議会をつなぐ会、市民からの請願・陳情、各会派の活動などから委員会として取り組むべき課題の抽出を行い、テーマを決定している。内容及び調査研究方法の検討を行った後、行政視察を実施する。調査・研究においては、当局、有識者、市民などへのヒアリングを必要に応じて実施している。現状把握・分析を行い、中間報告書を作成し、全議員に配布し、意見を募集する。その意見をもとに、提案の素案を検討し、各常任委員会で最終報告書を作成する。報告書は議長に提出後、議会全員協議会での質疑・討論・採決を経て、賛成多数の場合は調査報告書として市長に報告する。全会一致の場合は、議案化が必要か検討し、必要がなければ議長から市長へ提言を行っている。
主な質疑	Q 政策提言には、どのくらい時間をかけているのか。 A 昨年度の実績は、会議や条例の審査を含めて 20 回前後であるが、任期の 1 年目ということもあり、それほど詰めた協議は行われなかった。本年は 2 年目にあたり、現時点で 30 数回という状況である。1 年目と 2 年目では要する時間も変わってくるが、時間のデータは取っていないので、正確な時間数は把握していない。 Q 報告書をまとめるに当たって、議員と事務局の関わり方は。 A 事務局は、資料提供のほか、論点整理やまとめを行っている。委員長のリードのもと、それぞれの常任委員会でやり方を工夫している。